

季刊誌「むらのおと」

Vol. 44 2024.Winter



mura note file
むらの声

- 新所水とみどりのプロジェクト (湖西市)
- 宇久須 (賀茂郡西伊豆町)
- 一社一村しずおか運動
- 天子ヶ岳の里 (富士宮市)
- キラリ☆邑びと
- 大沢地区 (静岡市葵区)
- my viewpoint
- 梅ヶ島 (静岡市葵区)

フォトコンテスト
イベントカレンダー

季刊誌「むらのおと」
vol.44
2024
Winter

2024年12月20日発行
●発行/「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合 〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号
静岡県経済産業部農地局農地保全課 ☎054-221-2714 FAX.054-221-2809



TAKE FREE

むら し す お か
サポ 農山村サポーター

ふじのくに
美しく品格のある邑
Beautiful and Gracelul Villages in "FUJINOKUNI"
「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合

農山村にかかわる相談にぜひご活用ください!

相談
無料

むらづくりワンストップ窓口 によるこそ

「〇〇について勉強したい!」「地域資源の掘り起こしや、新たな活用を考えたい!」
「企業と連携して、新たな取り組みをしてみたい!」
「むらづくりを応援したい!」「農産物を活用したビジネスをしたい!」など、
相談事がありましたら、お近くのワンストップ窓口へご連絡を!
窓口がアドバイスやマッチングをお助けします。

農山村でのイベント・ビジネス研修会



地域づくりアドバイザーによる
研修会・交流会

情報
発信

旬な農山村の情報を
「むらサポ」WEB・
フェイスブックで広報します

【情報内容の例】
・農山村でのイベント開催
・ボランティアの募集
・農産物販売の開始



農山村や企業による相談

出張相談会

農山村のよろず相談室を
受けつけます

【相談内容の例】
・〇〇の手法を勉強したい
・邑への移住者を増やしたい
・農業をやってみたい

各種
相談

連携
支援

むらとまちの人々との
連携を支援します

【支援内容の例】
・地域の特産品を用いた商品開発
・企業や大学とのマッチング
・他の邑の取組紹介、
交流会の開催

むらづくり
ワンストップ窓口

地域づくりに役立つ研修会や、相談会、
交流会も年に数回開催中!

【参加無料】

他の邑との
ネットワークも
広がります。

県の地域づくり
アドバイザーや
環境学習コーディネーターが在籍
しています。



- 伊豆地域 **特定非営利活動法人 NPO サプライズ**
伊豆市修善寺 75 ドットツリーオフィス
☎0558-99-9120 (平日のみ9時から16時)
- 東部地域 **特定非営利活動法人ホールアース自然学校**
富士宮市下袖野 165 ☎0544-66-0790 (9時から17時)
- 中部地域 **一般社団法人 SACLABO**
藤枝市若王子 705-2 ☎070-5332-3955 (9時から18時)
- 西部地域 **特定非営利活動法人地域づくりサポートネット**
浜松市中区常盤町 133-13 ☎053-458-3480 (9時から17時)



Facebook
www.facebook.com/shizuokamurasapo/
しずおか農山村サポーター「むらサポ」



Instagram
www.instagram.com/murasapo/



オフィシャルウェブサイト
www.fujinokuni-mura.net
美しく品格のある邑 検索



44
2024
Winter

CONTENTS

むらの声 mura note file

03 #01 新所水とみどりのプロジェクト
(湖西市)

05 #02 宇久須
(賀茂郡西伊豆町)

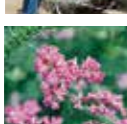
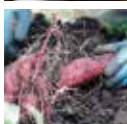
07 一社一村しずおか運動
天子ヶ岳の里
(富士宮市)

09 キラリ☆邑びと
大沢地区
(静岡市葵区)

10 my viewpoint
梅ヶ島
(静岡市葵区)

11 フォトコンテスト

13 イベントカレンダー



浜松市浜名区流川 (ふじのくに美しく品格のある邑: 大好き! 流川)

山々に囲まれた茶畑が雪で覆われた、何とも幻想的な白銀の世界。みかんの栽培が盛んな奥浜名湖地域ですが、茶畑が広がっている場所もあります。霧深き山で育った香り高きお茶は格別の味わいです。
#しずおかむらたび冬 2023Instagram フォトコンテスト入賞作品
「絶景雪化粧のお茶畑」小栗 進



ふじのくに美しく品格のある邑って?

日本一高い富士山や日本一深い駿河湾など、変化に富んだ地形と清らかな水に恵まれた静岡県は、農作物や水産物の品目数において全国トップクラス。この豊かな食材を生産する県内の農山漁村には、棚田や茶畑といった美しい風景に加えて、古くから伝わる伝統が息づく地域それぞれの「宝(資源)」があります。

「ふじのくに美しく品格のある邑」とは、地域の宝を大切に思い、それを守り、次世代につなげていこうとする人々が集まって、真摯に活動を行う理想の農山漁村として「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合が認定した地域(邑)です。平成24年度に35市町の45地域が認定されたのを皮切りに、毎年登録数が増え続け、令和6年12月現在で155の地域が名を連ねています。

「ふじのくに美しく品格のある邑」は、深い山々に囲まれた山間地の集落から、周囲が市街地化された農園まで、その個性は様々です。

周辺環境だけにとどまらず、規模の大小、文化や歴史、特産品や名物など、155の地域にはそれぞれに特徴があり、県全域で多彩で多様な魅力を形成しています。

また、そこで活躍する人々も魅力的です。自分たちの地域を愛し、活動に誇りを持つ人たちの自信に満ちた姿は、訪れる人にとって、忘れられない「美しい思い出」となるはずです。「ふじのくに美しく品格のある邑」の詳しい情報は連合のホームページにあります。魅力的な場所、地域の特産品、参加できるイベント情報なども掲載されているので、まずは気になる邑を訪ねてみましょう。



ふじのくに美しく品格のある邑ホームページ



登録
155
邑

「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合とは

「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合とは、邑づくりの趣旨に賛同した県内全35市町、静岡県が会員となり、「美しく品格のある邑」の魅力向上やブランド力強化のために、広報活動、情報収集、調査研究を行い、「美しく品格のある邑」についての審査・登録事務を行う組織です。

邑名/P 記事掲載邑

● 新所あじさいまつり
[6月第2日曜]



東小学校周辺農道沿いに植栽されたアジサイを鑑賞しながらコースを散策します。道中には水生生物や草木の観察会、草苗体験などが盛り込まれているほか、アジサイ苗やまるごとイチゴアイスの無料配布も行われます。
● 場所 / 湖西市立東小学校(湖西市新所680)とその周辺
☎ 問い合わせ / 053-578-2837(木本忠義さん)

● 女河八幡宮例大祭
[10月第2日曜]



秋の収穫を感謝する神事が行われます。特殊神事では「巫女ト」「十列見」「神の的」「神楽」「的場定め」「流籠馬」「種蒔」「相撲」といった個性的で多彩な儀礼で構成されています。県無形民俗文化財指定。
● 場所 / 女河八幡宮(湖西市新所1)
☎ 問い合わせ / 053-576-1140(湖西市文化観光課)

浜名湖の西側に広がる新所は、さざ波の音が心地よく響く湖畔の邑。少し奥へ進むと、田んぼや畑が広がる穏やかな田園風景が現れます。なかでもひととき目を引くのが、水路や農道沿い約3キロにわたって咲き連なるアジサイの群れ。「あじさいロード」と呼ばれ、初夏には新所を彩る風物詩となっています。

2007年に発足した「新所水とみどりのプロジェクト」では、この美しい景観を守るため、地域ぐるみで保全活動が続けています。代表の本木忠義さんは、「昭和40年代に整備された51ヘクタールの農地に耕作放棄地が増え始め、農業者の高齢化と担い手不足で、農家だけでは広大な農地を維持することが難しくなっていました。そこで、農業者だけでなく、地域住民全体が一丸となって取り組むプロジェクトを立ち上げたんです」と振り返ります。

「ただ草を刈るだけでは味気ない。せつかくなら楽しんで作業できるように」と、地域住民が利用できる散歩道を整備することになり、この湿気の多い水田地帯に適したアジサイが選ばれたそうです。「当初は地域住民の理解を得るのに苦労しましたが、自治会と協議を重ね、長い年月をかけて理解の輪が広がりました」とプロジェクトの軌跡を語ります。



● 見頃を迎える6月は浜名湖畔アジサイロード！

2011年から始まった「新所あじさいまつり」。12回目を迎える今年は、地域住民や子どもたちなど、200人を超える人出で賑わいました。アジサイの鑑賞に加え、付近の川に生息する水生生物や魚の観察会、新所の農家が育てた野菜を販売するミニ青空市やスタンプラリーも行われます。ぜひお越しください！

● 木本 忠義さん
湖西市新所出身。「新所水とみどりのプロジェクト」代表。農業をはじめて48年。「きもと園芸」で一輪菊とスプレー菊を育てている。



① 東小学校の子どもたちと農業体験。田植えはもちろん、苗の選別に使う「塩水選」や「もみまき」など、一連の工程を体験してもらっています。
② 6月にサツマイモの植え付け、10月には収穫作業を行っています。
③ 「新所をきれいにする日」として、2007年から自治会等と連携して草刈り作業を継続中。



mura note file
むらの声 #01

浜名湖畔のアジサイが 邑人の心を動かし豊かに彩る

邑の宝である田園風景を守ろうと、地域ぐるみで保全活動が続けている新所。約3キロにわたって咲き連なる「あじさいロード」は彩り豊かな未来へと続く。



「新所水とみどりのプロジェクト」中心メンバーの皆さん。左から菅沼純一さん、伊藤行男さん、木本忠義さん、伊藤均さん、菅沼喜代彦さん。



新所水とみどりの
プロジェクト

しんじょみずとみどりのぶろぐえくと

湖西市

- 車 / 東名高速三ヶ日インターから約25分
- 電車・バス / JR 鷺津駅から遠鉄バス浜名湖電装線(入出行き)「新所」下車

● ガラスのふるさと風鈴神社
～空と海の声～

【6月23日～9月23日】



宇久須神社にて240個の青い風鈴が美しい音色を奏でるイベント「風鈴神社」を開催。拝殿には、イベント期間限定で宇久須神社の御朱印もご用意しています。リヤカーでの引き売りや「御祈禱済みの青い風鈴」限定88個の販売も行います。
● 場所 / 宇久須神社 (西伊豆町宇久須1269-1)
☎ 問い合わせ / 0558-52-1268 (西伊豆町観光協会)

夕陽の町として有名な西伊豆に位置する宇久須。ガラスの原料「珪石」の産地であり、ガラスの町としても有名です。そんな宇久須で令和元年に立ち上がった「宇久須美農里プロジェクト」では、農業者と地元有志が力を合わせ、荒廃した農地の再生や堤防の整備、耕作放棄地を活用した花畑づくりや水路・農道の清掃活動などを行っています。

明さんは「かつては地域全体で手入れをしていたが、今では高齢化や人口減少により、堤防のり面には草木が生い茂り、猪や鹿が身を隠せる通り道になってしまった」と話します。定期的に草刈りをした

り、侵入防止のフェンスを設置したことで、獣害が減少。堤防の見通しがよくなったので、花や景色を楽しむに朝夕ウォーキングする人も増えてきたそうです。

また、昨年からの準備を進め、今年は新たな活動として、地元の賀茂小学校5年生を対象に「田んぼの学校」もスタートしました。プロジェクトメンバーの指導のもと、「紅染めもち」という赤米を使い、昔ながらの定規を使った田植えに挑戦。泥に足を取られて思うように動けない中で、2人1組になって協力しながら、田んぼいっぱい苗を植えました。収穫された64キログラムの赤米は学校給食として提供され、子どもたちにとっても大切な思い出になったことでしょう。



休耕地を活用して菜の花やヒマワリ、赤蕎麦などを植栽。

プライベートグランピング
わさびビレッジ

「大人の秘密基地」をテーマに、大自然の中、四季や満点の星空を楽しむことのできるグランピング施設。最大6名で過ごせるトレーラーハウスにはウッドデッキが併設されており、BBQグリルやスウェーデン製の薪露天風呂を完備しています。

● 場所 / 西伊豆町宇久須字嵯峨野 2745-1 ☎ 問い合わせ / 0558-36-3773

遊びに？！

季節の花々が咲くお散歩ロード

私たち「宇久須」では、毎月2回、宇久須大沢橋から新宇久須橋間の堤防法面の除草作業を行っています。荻化して危険だった宇久須川堤防沿いが整備され、もともと植わっていた水仙や彼岸花たちが顔を出すようになりました。私のトレーニングコースにもなっています。春には桜も咲いてキレイですよ。ぜひ遊びに来てください！

邑びとナッセージ

うちだ ひであき
内田 秀明 さん

西伊豆町宇久須出身。同地区の住民ボランティア団体「宇久須美農里プロジェクト」の代表を務める。遊休農地を活用して花畑を整備し、景観保全や地域の人が過ごしやすい環境づくりを行う。元教員。



宇久須
うぐす



賀茂郡西伊豆町

● 車 / 伊豆縦貫自動車道月ヶ瀬インターから約40分

水田に映る子どもたちの笑顔 川沿いには匂花が顔を出す

5年にわたる除草作業が実を結び、あらわれた季節の花々が邑人の目を楽しませている。休耕地を活用した子どもたちの農業体験もいよいよスタート。



苗を一定の間隔で植えるための木製の道具「田植え定規」を使って昔ながらの田植えに挑戦！



獣害対策を兼ねた堤防法面の除草作業により、数年ぶりに目を覚めた水仙や彼岸花たち。



未来を担う若い世代と一緒に活動できる場をつくりたい

富士山と天子ヶ岳に囲まれ、静かに流れる半野川が育む半野・佐折地区。この地域は富士宮市内でも有数の米どころですが、農業者の高齢化や後継者不足により、耕作放棄地が増加傾向に。「天子ヶ岳の郷保存の会」では、農地の保全や水路の整備、彼岸花の栽培に取り組み、邑の農業景観を守り続けています。

会長の渡邊正孝さんは、「邑の宝ともいえるこの美しい景観を次世代に引き継ぐため、若い世代と一緒に活動できる場をつくりたい」と話します。一方で、大学の実習施設「富士自然教育センター」では、学生が農業を通じて地域と触れ合う実習の場を求めています。そんな両者の想

フィールドワークを通して農業の課題に向き合う

これまでの活動を振り返り、日本大学の黒田さんは「藤沢キャンパス内にも農場はありませんが、地域の方々と一緒に

いが重なり、2011年に「一社一村しずおか運動」の協定を締結し、協働活動がスタートしました。

サツマイモの苗付けから収穫、販売まで

今年度の協働活動のメインは、遊休農地を活用したサツマイモ栽培です。保存会メンバーのサポートのもと、学生たちと教職員が6月に苗付け、8月につる返し、10月に収穫を行いました。

試し掘りに参加した日大4年の手塚祐太郎さんと中野文人さんは、「地域の皆さんと触れ合いながら農作業するのが楽しい」と話し、木村直樹さんは「収穫したサツマイモは学部祭で販売します。お客様の喜ぶ顔が来年のモチベーションにつながります」とやる気に満ちていました。



に作業することで、技術だけでなく、農業の魅力や地域が直面する課題を肌で感じる貴重な機会となっています。将来的には地域の農業を支える若い世代の育成にもつながるはず」と話します。

当初は収穫したサツマイモで焼酎を作ったり、米づくりも行っていました。が、コロナで一時中断に。「この地域は富士山の伏流水で育てたおいしいお米が自慢です。いずれ米づくりも再開したいですね」と期待を込めて語りました。

農業のリアルを肌で感じる 遊休農地が学びの場として蘇える

2011年にスタートした日本大学生物資源科学部との協働活動では、保存会メンバーと大学生がタッグを組み、遊休農地を活用してサツマイモや米づくりに挑戦。若い力と感性が、邑の未来を育んでいる。



一社一村しずおか運動

企業と農村が協働活動することで静岡の農山村地域の活性化を図る運動です。

天子ヶ岳の里

てんしがたけのさと
富士宮市



●車/県道414号線、県道184号の交差点から約400m南下し、交差点を西方面へ右折し約200m



後方左より、笹田勝寛さん（日本大学准教授）、中野文人さん（日大4年）、手塚祐太郎さん（日大4年）、渡邊正孝さん（天子ヶ岳の郷保存の会会長）、渡邊和良さん（天子ヶ岳の郷保存の会副会長）前方左より、木村直樹さん（日大4年）、黒田友美さん（日本大学・富士自然教育センター）、黒田貴綱さん（日本大学・富士自然教育センター-助手）学生のみなさんは日本大学生物資源科学部に在籍。多いときで50名を超える学生や教職員が集まります。



手塚にかけて育てたサツマイモの一部は、富士自然教育センターで給食材料として使ったり、学部祭で販売しています。



期待できる効果

地域のメリット

～天子ヶ岳の郷保存の会にとって～

- ・遊休農地が生産農地に
- ・人手不足の解消
- ・学生の若い力と感性により地域が活性化
- ・農業技術の伝承

企業のメリット

～日本大学生物資源科学部にとって～

- ・実習・研究フィールドとして活用
- ・農業者との交流の場
- ・農地保全への関心向上
- ・農村環境の保全に貢献

外国人が見た邑のあれこれ my viewpoint



今回は、静岡市内から車でおよそ1時間の「梅ヶ島」という邑を訪れました。静岡市の中山間地の魅力に迫ります！

「梅ヶ島」の名前の由来は？



曲がりくねった道を走り抜けると、安倍街道沿いの美しい邑に到着しました。今では自然に恵まれた観光地として知られていますが、昔は山崩れが多いことから「埋まる島」として知られていました。このイメージを乗り越えるために平成4年から始めたのが梅の木の植栽。埋まる島は、梅ヶ島という名にふさわしい美しい邑へ姿を変えていきました。

温泉でリフレッシュ！

梅ヶ島には、川沿いに旅館が立ち並ぶ美しい景色が広がっていました。梅ヶ島温泉郷にある「湯の島館」という旅館を見学し、最近リフォームされた広くてモダンな部屋や、魅力いっぱいの温泉を見ることができました。4つの貸し切り温泉があり、「風・林・火・山」をテーマに分かれており、一番印象的だったのは「山」にある洞窟のような岩風呂でした。カナダから日本に来て以来温泉が大好きになったので、ぜひ全ての温泉に入りたいです。旅館を出て赤い橋を渡り階段を上れば、綺麗な景色に囲まれた滝が見えます。これは梅ヶ島温泉の源流だそうです。お湯にまつわる神社もあり、温泉の神様に感謝のお祈りをする事ができました。



より深まったお茶への関心

温泉郷の近くでは、多彩な体験を行うことができます。今回は人生初の紅茶づくり体験に挑戦！まずは香りを出すために茶葉に傷をつけました。洗濯板を使ってお茶を揉みましたが、かなりの力が必要でした。そして酸化・発酵のためにしばらく時間をおくと、紅茶の完成です。梅ヶ島くらぶの辻さんによる優しい指導のもと、美味しい紅茶をつくることができました。2人で完成した紅茶の味比べをしました。味の違いに驚きました。同じ茶葉でも、準備から作業の間で些細な違いがあるだけで味

に影響があることから、お茶づくりには丁寧なプロセスが必要であることがわかりました。お茶は芸術だ！

静岡の食を堪能！

梅ヶ島では美しい景色だけではなく、美味しい食べ物もいただくことができます。黄金の里では、「梅ヶ島御膳」を頼んで地域の自慢の食材を味わいました。「魚魚の里」で育ったあまご、わさび葉とわさび漬、手作りこんにやく、梅ヶ島産シイタケ、ごはん、味噌汁と、梅ヶ島の食材を堪能することができました。また、湯の島館では宿泊者に「しずおか食セレクション」認定食材を使った食事を提供しており、ここでも静岡県が誇る食材を存分に味わうことができます。静岡っばい旅だかしん。



最近勉強した方言！
だかしん=てしょうか

いつでも誰でも楽しむことができる邑

梅ヶ島では、お茶づくり体験のほかにも、四輪バギーツアーや原木椎茸狩り、釣り体験などを楽しむことができます。また、「赤水の滝」をはじめとした梅ヶ島七滝があり、自然も豊かです。近くにはキャンプ場があり、家族や友達と一緒に楽しく過ごせること間違いなし！「黄金の湯」という日帰り温泉もあり、梅の花が咲く季節や秋の紅葉の際は、庭に美しい景色が広がるそうです。ぜひ、魅力あふれる邑を訪れてみてください！



静岡県知事直轄組織多文化共生課国際交流員
デレヨン・ロイス(左) [フィリピン]
ドブソン・キンバリー(右) [カナダ]



キラリ★邑びと

新たな取り組みで地域を盛り上げる邑びとを紹介します。
今回は「大沢地区」の代表、内野昌樹さんに話を聞きました。



大沢地区
代表 内野昌樹さん

茶農家の縁側でまったり お腹も心も満たされる「縁側カフェ」

自分たちがつくったお茶を自分たちの手で届けたい

静かな山間に茶畑が広がる小さな集落、大沢地区。この地で月に2回、地元の茶農家が縁側を開放して営む「おおさわ縁側カフェ」がオープンしています。全23世帯のうち10軒ほどの農家が、丹精込めて育てたお茶とお茶うけでおもてなし。ブランチャがからカフェめぐりが楽しめます。この取り組みがスタートしたのは今から10年ほど前。大沢茶は5月の連休に収穫されるため、市場への出荷が八十八夜後となり、せつかくの上質なお茶の価値が価格に反映されないというジレンマを抱えていました。さらに、急傾斜地での農作業は重労働で、茶農家を続けるのが難しくなる人も増えていました。



「このままでは邑が廃れてしまう」と危機感を抱いた発起人の内野さんは、「自分たちがつくったお茶を自分たちの手で届けよう」と邑が一丸となり、「おおさわ縁側カフェ」を立ち上げたのです。個性豊かな大沢茶を飲み比べ「各農家がそれぞれの工場で作られたお茶を加工するため、味がひとつひとつ異なるんです」と内野さんは話します。「カフェを巡りながら、それぞれの味わいの違いを楽しんでほしいですね」と内野さんは話します。

コロナ禍で一時的に中断していた縁側カフェは昨年再開し、1000人ほどが訪れました。以前は年間7000人が訪れ、周辺の道が渋滞するほどの賑わいだっただけではありません。またかつての賑わいを取り戻せるよう、広報活動にも力を入れていきたい」と意気込みます。縁側カフェはすべて徒歩圏内にあり、3軒もまわればお腹も心も満たされます。晴れた日曜は大沢地区へ足を運んで、縁側でまったりしませんか。



毎月第2・第4日曜 OPEN!

おおさわ縁側カフェ

現地で配布されているマップを片手に縁側カフェめぐり♪



マルダイさんの名物、お好み焼きと煮物。おふくろの味にほっこり。



思わず長居してしまう、マルチュウさんの見晴らしのよい縁側。



サスエさんの自家製柏餅は薬料な甘さ。和紅茶とのペアリングが美味!



- 時間 / 10:00~14:00頃 (4月~10月は15:00頃まで)
- 料金 / お休み料 500円
- 駐車スペースあり
- 問い合わせ / 054-292-2656 (内野昌樹さん宅)



おおさわく
大沢地区
静岡市葵区

- 車 / 新東名高速 新静岡インターから約30分
- バス / JR 静岡駅から静岡バス安倍線(横沢行き) [大沢入口] 下車、徒歩20分

🚶‍♂️ 大好き！渋川



「涼を求めに」
(浜松市浜名区引佐町渋川 親水公園)
撮影者：小栗 進さん
撮影時期：令和6年8月

🚶‍♂️ 徳山



「山里に鹿が舞う」
(川根本町駿河徳山)
撮影者：杉本 昌弘さん
撮影時期：令和6年8月



「泥んこプロレス」
(松崎町岩科)
撮影者：senganmon さん
撮影時期：令和6年6月

🚶‍♂️ ～竜ヶ石山～西四村の里



「棚田日和」
(浜松市引佐町田畑 白檀の棚田)
撮影者：spua_chiikimoriagetai さん
撮影時期：令和6年9月



「巨大吊るし雲の下で稲刈り」
(御殿場市)
撮影者：fieldnow3 さん
撮影時期：令和6年9月

第10回
静岡県
農村の魅力
フォトコンテスト
入賞作品発表
#しずおかむらたび夏2024

訪れてみたくなる、過ごしたくなる、
農村の「食」、「文化」、「人々」の
写真・投稿を募集しました。

夏のテーマ

「記憶に残る農村の一コマ」

🚶‍♂️ 岡部本郷



「田園地帯を走る」
(三島市北沢地区)
撮影者：鈴木 常雄さん
撮影時期：令和6年6月



「夏まつりの日」
(藤枝市岡部町内谷)
撮影者：小沢 大介さん
撮影時期：令和6年7月



「さんぽみち」
(沼津市原)
撮影者：露木 義光さん
撮影時期：令和3年9月

🚶‍♂️ 天子ヶ岳の里



「秋の絶景」
(富士宮市半野)
撮影者：otnky321 さん
撮影時期：令和6年9月中旬



「御前崎市 × ひまわり畑」
(御前崎市比木)
撮影者：tezuka.koji さん
撮影時期：令和6年8月

🚶‍♂️ 抜里



「まっしろなカーテン」
(島田市川根町抜里)
撮影者：moripan06111918 さん
撮影時期：令和6年7月中旬

第10回静岡県農村の魅力フォトコンテスト
#しずおかむらたび冬2024 作品募集中！



2024年12月16日(月)から冬のフォトコンテスト開催中です！
応募期間は2月28日(金)まで。皆様からの多数の応募をお待ちしております！



詳しくは「むらサポ」instagramアカウントをチェック！

応募期間

12/16 Mon ~ 2/28 Fri

今回のテーマは、「農村で見つけた冬のきらめき」です。



「おなご職人」
(浜松市中央区神ヶ谷町 だけむら農園)
撮影者：片岡 登喜江さん
撮影時期：令和6年8月



「黄金色の田んぼと富士山」
(富士宮市)
撮影者：uav.photo さん
撮影時期：令和6年9月上旬



「水田アートその後」
(伊豆市)
撮影者：tukusi01 さん
撮影時期：令和6年7月中旬



「かさんぼこ」
(森町睦実)
撮影者：heqiang_nj さん
撮影時期：令和6年8月中旬



お越しいただく皆様へのお願い

開催日時や内容は、余儀なく変更・中止される場合がございますのであらかじめご了承ください。

伊豆市 **いずのやね茅野**
2月24日(祝)9時~12時
遊歩道整備
 はちくぼ遊歩道整備体験者募集
◆鉢窪山
 〇 かつむり 足立
 ☎ 0558-85-2104
 ① 駐車場及び体験料・参加費無料

浜松市 **和地ふるさと会**
2月~3月上旬
東大山河津桜まつり
 花川沿いに400本の河津桜と菜の花が見所。土日は、軽トラ市、軽食、イベントを予定
◆大山区の花川堤西区和地町地内
 浜松市中央区大山区 2671 付近
 〇 和地ふるさと会 (担当: 会長 野中 眞八郎)
 ☎ 090-3483-9494
 ① 無料駐車場 200~400台 (案内看板あり)
 開花情報をご確認ください

伊豆市 **伊豆月ヶ瀬梅の里**
2月中旬~3月中旬
梅まつり
 梅の観梅、静岡県太鼓祭り、農産物販売
◆伊豆月ヶ瀬梅林 伊豆市月ヶ瀬 763-2
 〇 伊豆月ヶ瀬梅組合
 ☎ 0558-85-0480
 入場料お一人500円 ① 駐車場無料

毎月開催イベント

浜松市 **恩地町環境みどり会**
毎月第3日曜9時~9時30分
恩地町みどり朝市
 地産地消のみどり朝市~地元産野菜~中心の即売会です。安全・新鮮・安~い
◆恩地町公会堂屋外広場 浜松市中央区恩地町 443 番地
 〇 恩地町環境みどり会 見野 ① 駐車場有 無料
 ☎ 053-426-2888



浜松市 **ほっと龍山**
2月9日(日)10時~15時
ドラゴンマの食体験 2024
 人日の節句。七草がゆ、いちご大福、みそづくり体験
◆ドラゴンマ加工場
 浜松市天竜区龍山町瀬尻 930-1
 〇 ドラゴンマ加工場
 営業時間: 9時~16時 定休日: 月・火曜日
 ☎ 053-968-0011
 定員: 20名 先着順
 参加費: 3,500円/人 (10歳以下 2,000円)



藤枝市 **滝沢・滝ノ谷**
2月15日(土)
滝沢八坂神社の田遊
 静岡県指定無形民俗文化財の伝統行事です。農作業を模した演目で、豊作を祈願します。(奉納 18:30~)
◆八坂神社
 藤枝市滝沢 1320
 〇 藤枝市 文化財課
 ☎ 054-645-1100

藤枝市 **殿**
2月16日(日)
朝比奈龍勢昆虫館ミニイベント
 地場産品販売、御虫販売、テナント出店
◆朝比奈龍勢昆虫館
 藤枝市岡部町新舟 1214-5
 〇 朝比奈龍勢昆虫館 原木 亮
 ☎ 054-668-1780

伊豆市 **いずのやね茅野**
2月16日(日)9時~12時
椎茸菌打ち
 椎茸菌打ち体験者募集
◆茅野畑田
 〇 かつむり 足立
 ☎ 0558-85-2104
 ① 駐車場及び体験料・参加費無料

浜松市 **そばの里づくり佐久間**
1月下旬(土、日)9時~15時
佐久間新そば祭
 地元佐久間のそば粉はもちろん、他地区のそば粉を使ったそばの食べ比べと地元産品の販売
◆天竜区佐久間町佐久間 429-1
 〇 NPO 法人がんばらまいか佐久間 (担当: 河村)
 ☎ 053-965-1100
 日程はホームページまたは電話で問い合わせください
 ① 佐久間協働センター駐車場利用 (無料)

February 2月~

日野 元気な百姓達の里
2月1日(土)~3月10日(月)
第26回みなみの桜と菜の花まつり
 広さ約3haの菜の花畑があり、その付近の青野川両岸沿いに800本の桜並木がありとてもきれいです。ぜひお越しください。
◆南伊豆町湊・下賀茂周辺
 〇 南伊豆町観光協会
 ☎ 0558-62-0141
 ① 駐車料金: 500円



森町 **一の宮の里**
2月3日(月)
節分祭
 年男年女の奉仕者による豆まき行事が行われます。
◆小國神社
 ① 無料駐車場あり
 〇 小國神社
 ☎ 0538-89-7302



伊豆市 **いずのやね茅野**
2月9日(日)9時~15時
田おこし
 春田おこし体験者募集
◆茅野畑田
 〇 かつむり 足立
 ☎ 0558-85-2104
 ① 駐車場及び体験料・参加費無料

浜松市 **三ヶ日みかんの里**
1月11日(土)9時~15時
JA みっかび農協祭
 特産物品評会・農産物販売・みかんつかみ取り・餅投げ・畜産まつり・女性部展示
◆JA みっかび本所 構内
 〇 JA みっかび 組合員生活課
 ☎ 053-525-2215

森町 **天方**
1月上旬~2月中旬
ろうばい見頃
 大晦日から多くの初詣客で賑わいます。
◆アクティ森
 ① 無料駐車場あり
 〇 アクティ森
 ☎ 0538-85-0115



掛川市 **とうもんの里**
1月18日(土)
干し芋作り体験
 昔ながらの季節のおやつを作りましょう
◆とうもんの里総合案内所
 掛川市山崎 233
 〇 NPO法人とうもんの会
 ☎ 0537-48-0045
 参加費: 大人1,000円 子ども700円

藤枝市 **殿**
1月19日(日)
朝比奈龍勢昆虫館ミニイベント
 地場産品販売、御虫販売、テナント出店
◆朝比奈龍勢昆虫館
 藤枝市岡部町新舟 1214-5
 〇 朝比奈龍勢昆虫館 原木 亮
 ☎ 054-668-1780

伊豆市 **いずのやね茅野**
1月26日(日)9時~14時
草刈り
 虫の里草刈り体験者募集
◆与市坂
 〇 かつむり 足立
 ☎ 0558-85-2104
 ① 駐車場及び体験料・参加費無料

January 1月~

森町 **一の宮の里**
1月1日(祝)
初詣
 大晦日から多くの初詣客で賑わいます。
◆小國神社
 ① 無料駐車場あり
 〇 小國神社
 ☎ 0538-89-7302

森町 **一の宮の里**
1月3日(金)
田遊祭
 一年の豊作を祈願する神事芸能。
◆小國神社
 ① 無料駐車場あり
 〇 小國神社
 ☎ 0538-89-7302

掛川市 **とうもんの里**
1月4日(土)
初春まつり
 七草摘みに出かけましょう!七草にまつわる初春ライブもあります。
◆とうもんの里総合案内所
 掛川市山崎 233
 〇 NPO法人とうもんの会
 ☎ 0537-48-0045
 参加費無料



掛川市 **とうもんの里**
1月5日(日)
初春まつり
 七草粥を食べて無病息災!
◆とうもんの里総合案内所
 掛川市山崎 233
 〇 NPO法人とうもんの会
 ☎ 0537-48-0045
 参加費無料

Event Calendar
 県のイベントカレンダー
 2024-25
 令和6-7年
 Winter

あなたのご意見をお聞かせください
 〒420-8601
 静岡県静岡市葵区追手町9番6号
 静岡県経済産業部農地局農地保全課
 FAX 054-221-2809
 E-mail: nouchihozen@pref.shizuoka.lg.jp

※ご意見とともに、住所・氏名・電話番号・年齢をご記載ください。
 ※頂いたご意見は次号以降に掲載させていただきます場合があります。
 ※個人情報、連絡のため以外には使用いたしません。

December 12月~

三島箱根西麓地区
12月21日(土)
坂もの野菜祭り (三嶋大根)
 伝統のたくあん漬けを樽や一本漬け等、様々な種類で販売。その他三嶋大根料理や、旬の箱根西麓三島野菜を販売。
◆JA ふじ伊豆みしまかん
 三島市谷田 235-8
 〇 三島市農と食のまちづくり課 谷井
 ☎ 055-983-2652

磐田市 **田原地区**
12月22日(日)9時~11時30分
しめ飾りづくり体験教室
 田原地区の皆さんを対象に、しめ飾りづくりの体験教室を開催します。
◆田原交流センター視聴覚室
 磐田市三ヶ野 1045-3
 〇 田原みどりの会 担当 鈴木卓伯
 ☎ 0538-35-4269 要予約